ニューファインＫＳＴ改修

オーバーレイ工法

【施工要領書】

シーカ・ジャパン株式会社

**施工仕様**

ニューファインＫＳＴ（オーバーレイ）工法

平均厚３㎜

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 工程 | 使用材料 | 使用量（／㎡） | 備考 |
| １ | 層間プライマーＪ | ０.１㎏ |  |
| ２ | ニューファインコート・ゼロ | ３.２５㎏ | ２．５ｍｍ |
| ３ | 層間プライマーＪ | ０.１㎏ |  |
| ４ | ＫＳＴコート・ゼロン  ＋ミルコンＹＳ－２  またはエストップ＃４０ | １．１１kg  ０．０６kg  ０．０９kg | ０．５ｍｍ |
| ５ | ハイステップコート（粗面仕上げ） | ０.２５㎏ |  |

**使用材料一覧**

| 品名 | 荷姿・入目 | 配合比 | 材質 |
| --- | --- | --- | --- |
| 層間プライマーＪ | １２㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝１：１ | ２成分形ウレタン樹脂プライマー（溶剤系） |
| 主　剤　６㎏／缶  硬化剤　６㎏／缶 |
| ニューファインコート・ゼロ | ３０㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝２：３ | ２成分形ウレタン舗装材 |
| 主　剤　１２㎏／缶  硬化剤　１８㎏／缶 |
| ＫＳＴコート・ゼロ | ３０㎏／セット | ＫＳＴコート・ゼロ：ﾐﾙｺﾝYS-2  ＝30㎏：2～4㎏  or  ＫＳＴコート・ゼロ：ｴｽﾄｯﾌﾟ#40  ＝３㎏：3～４㎏ | 2液形ウレタンエンボス仕上げ材 |
| 主　剤　１２㎏／缶  硬化剤　１８㎏／缶 |
| ミルコンＹＳ－２  または  エストップ＃４０ | １０㎏／袋  １２ｋｇ／袋 | エンボス仕上げ用　微粉末 |
| エストップ＃２０ | １２ｋｇ／袋 | ｴｽﾄｯﾌﾟ#40の代用  （#40より小粒） | エンボス仕上げ用　微粉末 |
| ハイステップコート | １６㎏／セット | 主剤：硬化剤  ＝１：３ | ２成分形アクリルウレタン樹脂トップコート（溶剤系） |
| 主　剤　　４㎏／缶  硬化剤　１２㎏／缶 |
| ダイフレックス  粗面仕上げ材 | ０.５㎏／箱 | トップコート１セットに対し１袋添加 | 粗面仕上げ用骨材 |

**施工の流れ**

|  |  |
| --- | --- |
| ニューファインＫＳＴ（オーバーレイ）工法 | |
|  |  |
| 既存舗装材切削処理・清掃 | |
|  |  |
| 層間プライマーＪ塗布 | |
|  |  |
| ニューファインコート・ゼロ塗布 | |
|  |  |
| 層間プライマーＪ塗布 | |
|  |  |
| ＫＳＴコート・ゼロ　エンボス層吹付け（ローラー）  ＫＳＴコート・ゼロ＋ミルコンＹＳ－２またはエストップ＃４０ | |
|  |  |
| ハイステップコート（粗面仕上げ）吹付け | |
|  | |
| 測量・ラインマーク（陸上競技場の場合） | |

**施工要領**

|  |  |
| --- | --- |
| 工程 | 施工方法 |
| １ | 既存舗装材切削処理・清掃 |
| 走路ウレタン補修箇所を特殊切削機械で切削処理を行う。表面より平均２㎜切削し、清掃を行う。 |
| ２ | 層間プライマーＪの塗布 |
| 層間プライマーＪを規定の配合で混合撹拌し、ローラー、刷毛またはペイントタンクガン・エアレスガン・ゴムレーキ等の工具で規定量を均一に吹付けを行う。 |
| ３ | ニューファインコート・ゼロ塗布 |
| 主剤・硬化剤からなるニューファインコート・ゼロを規定の配合で混合攪拌し、専用レーキ・コテ等の工具で規定量を均一にムラ無く塗布する。 |
| ４ | 層間プライマーＪの塗布 |
| 層間プライマーＪを規定の配合で混合撹拌し、ローラー、刷毛またはペイントタンクガン・エアレスガン・ゴムレーキ等の工具で規定量を均一に吹付けを行う。 |
| ５ | ＫＳＴコート・ゼロ　エンボス層吹付け（ローラー） |
| ＫＳＴコート・ゼロとミルコンＹＳ－２orエストップ＃４０を規定の配合で混合攪拌し、専用吹付け機もしくはローラーで規定量を均一に施工する。 |
| ６ | ハイステップコート（粗面仕上げ）吹付け |
| 主剤・硬化剤からなるハイステップコートとダイフレックス粗面仕上げ材を規定の配合で混合攪拌し、ペイントタンクガン・エアレスガン等の工具で規定量を均一にムラ無く吹付けを行う。 |
| ７ | 測量・ラインマーク（陸上競技場の場合） |
| 日本陸上競技連盟ルールブックに準じ測量し、測量した各点を結びライン材を塗布する。 |
| ８ | 養生 |
| 施工終了後、１日以上養生する。 |

|  |
| --- |
| 免責事項  ここに記載された情報およびその他の助言は、シーカの推奨する通常の条件下で適切に保管、取扱および適用された場合の製品に関するシーカの現在の知識と経験に基づいて誠実に提供されるものです。本情報は、本書で明示的に言及されている用途および製品にのみ適用されます。基材の変更など、用途のパラメータが変更された場合、または別の用途に使用する場合は、シーカ製品を使用する前にシーカの技術サービスにご相談ください。本書に記載されている情報は、製品の使用者が意図された用途や目的に対して製品をテストすることを免除するものではありません。すべての注文は、当社の現行の販売および納品条件に従って受理されます。ユーザーは、常に該当する製品の最新版の製品データシート又は製品カタログを参照する必要があり、そのコピーはリクエストに応じて提供されます。 |